

2025年4月13日 植垣康博さんを送る会



雨宮処凛さん

植垣康博さんを送る会前書き

4月13日文京区民センターで連合赤軍兵士植垣康博さんを送る会があった。なかなか豪華な顔ぶれだった。横浜国大の准教授や雨宮処凛さん、田原総一郎さんも参加された。岩田平治さんなど関係者も参加された。そのためか会場ビルの入り口が見える歩道に10人ばかりの背広族が手すりにもたれて数時間たむろしていた。久方ぶりの公安であろう。関係者はじじいばかりなのでは張り合いがなかったのではないかな。私も発言の機会をいただいて森恒夫も植垣康博さんもマルクスレーニンの著書はほとんど読んでないのではと指摘した。彼らは、マルクスレーニン全集に触れることはなかったと思う。私の後の発言者が植垣さんは、不合理に対する本能的に体の中から生じる反応として怒りを表明する人たちの代表者ではないかと発言された。私もそう思う。理屈で動き出した人と体の反応で動き出した人の違いであろう。三里塚での無党派集団や反日武装戦線の活動にも通じる。私の「大阪市立大学同級生が見た連合赤軍森恒夫」に挿入したい知見である。植垣さんが連合赤軍事件を語り続けたのは彼なりの謝罪であったろう。彼の経営するバルコンで語り合いたい人である。岩田平治さんが参加者に配った小さな木工細工は素晴らしいものであった。この技術で縄文土偶や埴輪を作ればビジネスとして成り立つのではないかとおもう。縄文、古墳愛好家としては手に入れたいものである。

司会者 金廣志さん

植垣さんは出所後、スナックを始め、客と一緒に朝まで呑むことが多くて、最初出てきた頃は、俺の肝臓は真っ赤だとか言って、元気でいくらでも飲めたんですけども、そのうち糖尿病になってしまいました。その影響もあつたんだと思うんですけども、血圧も高くなったりして、ちょうど連合赤軍50年のイベントやマスコミの取材とかがある時に脳梗塞を起こしてしまいました。あまり重いものではなかったんですけども。それで、自力で歩行するのが困難な状態になってしまい、施設に入っていました。その頃に、もうこんなじゃ生きてても意味がないとか、ちょっと愚痴をこぼしたりもしたんですけども。そのうち体調が戻ってきたんですね。これからだねというような時に、この年譜にもありますけれども、転倒して大腿骨を骨折して仕舞いまして、それで寝たきりになってしまいました。それが結果として、よく老人がなるパターンですよ、足を骨折して歩けなくなって寝たきりになって衰弱していくという、そういう状態になってしまったかと思えます。後で、映像もあると思いますけど、最後の頃に若手のM君とかF君とかがお見舞いに行ってくれて、植垣の最後の様子を見とってくれたということですけども。今日は様々に植垣康博と交流のあった方々にご挨拶をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。

(第一部)

田原総一朗さん

左翼の過激な人たちは革命をしなきゃで、革命をしてどういう国にするのか？革命まではわかんないけど。では、革命を起こしてどういう風にするのか？このビジョンがない。ここがつまり左翼が衰退した。(原因ではないか)

青砥幹夫

私と植垣が入学した時の弘前大学には新左翼の党派は一個もありませんでした。それで、多少なりとも社会的な問題とか政治的な問題に関わろうと思った時には我々は。民青に頼るしかなかったんですね。私も民青になりました。(伊福注:たしかにたまたまはいった大学に存在する党派からしか選択できなかったのですね。高校時代のカップルで彼女が早稲田に行きカクマルのシンパになり、中核派の彼と破綻した話もあります)

私も正直 20年やってきましたけど、一つ言いたいのは植垣のバイタリティとかやる気 っていたのどこから出てきたのかということは今でもよくわからないけど、私は彼の親友として同志として、哀惜の気持ちを持っていますが、弘前大学の昔の仲間たちも一緒に道は歩まなかったけれども、植垣のその後の行動に対して深い尊敬の気持ちと、それから愛惜の気持ちを今でもずっと持ち続けている。そのことだけは皆さんにお伝えしておきたいと思います。

前澤虎義さん

山で、山岳ベース事件の間、2ヶ月ほど、ほとんどずっと一緒にいたわけですけど、植垣の事、思い出がないんですよ。要するに ロボットというか、兵士というか、いわゆる無駄話もしないし、いろんな会話もしないから。彼の事はほとんど知らないまま、2ヶ月間みっちり、ずっと一緒に生活したのに、彼のことは殆ど知らないという感じなんです。

あと、彼と僕のつながりというか、あれは僕が最後、耐えられなくなって逃げた。軽井沢の駅前まで逃げたんですけど、彼はその逃げるのを見て、分かかって何もしないで知らん顔した結果、私が逃げられたわけですけど。そのずっと前に、まだM作戦やってる頃ですが、やはり一人ついて来れなくなった人がいた時も、やっぱり彼は逃してるんだよね。(伊福注;植垣さんは山田孝さんを逃がそうとして逃亡のチャンスを作ったが彼は逃げなかった)

大津卓滋弁護士

ある証人が「永田、坂口のためだったら出ませんが、植垣君のためだったら出ます」と行って出てくれた。

雪野建作さん

植垣君とは彼が出て来る迄は会ったことが無かったと思います。というのも私は71年の8月に捕まってしまったので。だから山の一番大変だった時は居ませんでした。それでも直接は関わっていませんが、71年の夏に二人が処刑された時、話は聞いていました。そもそも、その前年70年の末に、一人処刑しようという話がありました。その時は、無事回避できた罪深さって点で言えば。僕は永田や 坂口と同じくらい。倫理的に刑事ということとは、別の意味で。同じくらい罪深いことをしたかったと思っています。

(植垣さんは)やっぱり自分が事件の当事者として 証言する事を責務 だっている風に。思ってたんですね。そういう意味で非常に彼としては人間として本当に責任。取り方を彼は全うしたと思います。彼が出てきた後、全体像を残す会には殆ど毎回静岡から出てきてくれていました。彼は彼なりに取るべき責任を取り尽くしたと思います

(第二部)

馬込伸吾さん

私は赤軍の等を撮影しておりまして、その過程で植垣さんと2008年頃からお付き合いさせていただき2022年に植垣さんの病気が深刻になったので ですが、私は遅れて知ってしまいまして、これはまずいということで、急いで静岡に向かいました。その時からの様子が今から見ていただく映像になります。

(映像2022年からの植垣さんの闘病生活を写したもの。21分)

第三部

坂口さんから追悼文

植垣君の死を知り、連合赤軍事件もみんなが鬼籍に入りつつある現実を強く思わざるを得ません。ナンバー3であった者の責任として、残された時間内に宿題をやり終える所存です。

伊福達彦

大阪市立大学文学部で森恒夫の同級生です。所属は民主主義学生同盟でした。連合赤軍事件の2年前三島由紀夫を自刃しましたね。三島由紀夫のイメージは 2.26事件の青年将校のイメージあそこで あれに重ねたんですね。私たちの世代は1960年安保の 樺美智子さん。これ私たちのイメージだったんですね。ただ、森恒夫とか植垣さんが？何をイメージされたのかっていうのがわからないんです。森恒夫、植垣さんはマルクスレーニン全集を見たこともないのではないかと思います。

木村三浩(一水会)さん
秋山さん
梅原さん
藤井大地さん
研修医Kさん

横国大準教授

思想的にこうしなければならないです。とか、そういう理由をつけるって言うよりも 何とかその本能的に という体の中から感じる。不満。不合理 みたいな部分に対して怒りをね。表現するというか 発信していくところが重要 なんじゃないのかなという感じがしますね。で、植垣さんはまさにその代表している 一人者だったんじゃないのかなという感じがしました。共同通信A

篠田博之さん

何らかの形で吉野さんの総括っていうのは世に残したいなという風に思ってます。吉野さんもですね。大きな病気をしたり、なかなか体調 そんなに良くないんですけども。連合赤軍についての自分なりの思いを 記録として残したいっていう意思是相当なものがありますね。まあ、植垣さんもそうだったんですけども で、これはやっぱりすごく貴重なものとして手伝いができたらいいなと思ったんです。

監獄人権センターの職員

司会の金さんの締めくくり

彼と初めて会ったのは1971年の3月5日 なんですね。これなんではっきり覚えているか と言いますと、横浜銀行の総武台出張所を襲って 150万を取った日なんです。ね、その日に確か メンバーの中には1人 あの やっぱ 弘前大の あれは s君だったか。k君だったか、どっちかが 腹巻 から 150万 どどっと出したんですね。それで私が数える。そしたら 報道では150万だったんですけど、実際には 179万ぐらいありました。だから銀行がこういう 銀行 1円でもね。うるさいのにこんなんでもいいのかな？ と思った植垣さんが「お前はな。11歳の年下の女をもらって 犯罪者だ。言ってたんですね。だから私じゃあこの32歳差はどうなるんだ？ と言ったらそれは男の誉れという。」

この報告はスマホの「音声文字化」アプリで文字化したものをベースに伊福が独断と偏見で編集したした。もんです。主催舎の公式報告が出てないので個人の責任で公表いたします。